

第1回京田辺市複合型公共施設整備基本計画検討懇話会

議事録要旨

<施設全般について>

- 既存のユーザーや、現状の課題に対して改善することは最低限必要であるが、一方で、より多くの市民をどう取り込むか、参画していない人をいかに巻きこむか、実際に数十年先にどのような使われ方になるか、ということも考える必要がある。
- 京田辺市の歴史遺産・文化遺産を陳列するなど郷土愛を育むような仕掛けを一部つくるという点も検討してほしい。
- 現在、市で、文化振興計画を策定している中で、シビックプライドの醸成が重要な項目として挙げられるだろう。この施設がどのように貢献するか、というところが見えると良い。
- 子育て支援機能の中に、一時預かりや相談といったことなどが含まれているが、これらは施設の他機能の利用者にとっても有用なことである。
- 機能の融合や連携、近接性や視認性といったこともハードの設計としても実現出来たら良いと考える。
- 重ね使いというキーワードの中に、ハード的な設えの話とタイムシェアをはじめとしてソフト的なルールの話が含まれると理解する。

<文化ホールについて>

- 他施設と比較して舞台サイズが小さすぎるのではないか。周りと比べたときに特徴がある施設にしても良いと考えると、舞台サイズは8間程度あっても良いのではないか。
- ホールの音響装置を素晴らしいものにして頂きたい。芸能人を呼んで、若い人に来てもらえるようにしてもらいたい。隣接市のホールが素晴らしいと聞いている。
- バリアフリー対策について、市民団体が発表する場合は、演者でもあり観客でもあるので、客席から舞台袖までの動線がバリアフリーである必要がある。

<公民館（生涯学習）について>

- ダンス利用なども増えているので、更衣室利用の需要はあると考える。
- 公民館機能としては、アトリエなどが新設されており非常に良い。色んな人を呼び込むという意味でも、場所に困っている人に提供する意味でも良いし、人と人との新たな交流にもなる。

- 公民館に来れば自由に借りられる、色々な用途で使える部屋があれば、新たなニーズや、新たな使い方につながるのではないかな。
- 公民館機能について、重ね使いのコンセプトを追求していくのであれば、部屋の名称はすべての部屋が「多目的室」になるのではないかな。「多目的室」というのは、どの部屋も何にでも使える、大きさや使える時間帯が違うという整理でも良いのではないかな。
- 全多目的室案は大賛成だが、実際の運用ルールなどは考えていかないといけない。

＜図書館について＞

- 京田辺市のアンケート結果では、調べものをするための活動が、全国平均と比較して圧倒的に高いのが一つの特徴。アンケート結果のうち、新図書館で充実してほしい資料としてオンラインデータベースが多いのもめずらしい。特徴に合わせた施設を考えてみるのも良いと考える。
- 本施設で実際に働く人、市職員も含めて、その人たちの活動・行っていく内容を、場所と併せて検討して行って欲しい。また、専用人材が意思決定をできるような形で確保して行って欲しい。
- 静かな空間が求められるのは近年では少しのスペースだけで、図書館の中でどこを静かに、どこをにぎやかに、という議論もして行ってほしい。単純に開架を分散するだけでなく、配架の関係性も議論していきたい。
- 「調べる」という空間を作っていけると良い。
- 既存施設の利用実態を調査してもらいたい。
- 開架の蔵書数を上げすぎると使い辛さにつながることもあるので、開架率を上げすぎない方が良い。
- 資料の中で、開架書庫を紙の本を想定しているところが気になった。将来利用を想定し、紙以外のものに対応できるスペースが必要なのではないかな。
- メイカースペースとして3Dプリンター導入などがあってもよいのではないかな。また、ラーニングコモンズの様に、共用スペースでの創作などもあってもよいのではないかな。
- ラーニングコモンズの取り組みをする場合、備品類が必要となるが、設備はすぐに陳腐化してしまうため、定期的な更新が必要。ランニングコストがかかる点も見越しておく必要がある。
- 同志社大学の学生にも使ってもらい、市民と交われると良いのではないかな。
- 質の高い図書サービスが受けられるという意見、会話が出来るスペースという意

見、どの世代にとっても居心地の良いという意見がそれぞれあるが、これらは図書館の中に設置しなければならないのか、広場に整備すればよいものなのか、というところは分けて考える必要がある。

- 子ども会議の中でも自由で多様な意見が沢山出てきたが、実現出来たらとても良いなと思う一方で、それは図書館機能が担保されたうえで、プラスアルファの機能であるべき。
- フリースペースと自習室は共存するのが難しく南部まちづくりセンターでも様々な取り組みがされているが、静かに勉強したい子どもには利用が難しいのが現状課題であるので、自習室は別枠であるとありがたい。
- 自習室は図書館機能とは分けておいた方が良い。
- 自習室以外の共用機能は図書館機能との親和性は高いのではないかな。

＜施設の運営について＞

- シームレスに施設機能がつながっているのは理想的だが、管理する側が重要。
- 適切な管理機能を果たせる主体を見つけるのがなかなか難しいと思うが、施設計画においては管理についても視野に入れる必要があるので検討を進めて欲しい。
- 複合施設になると管理運営コストが増加傾向にある。
- 指定管理など、ヘッドクォーターとは別に人材を配置する場合もあるので、その辺りの検討も進めて欲しい。

＜その他＞

- できるだけ沢山の市民に利用されないと絵にかいた餅になってしまうので、施設のオープンに合わせて公共交通機関の整備も検討してほしい。
- 循環バスの意見は以前から出ているので、新しい施設が出来ることをきっかけに、ぜひ検討してほしい。
- 自家用車で来る人のための駐車場は整備してほしい。

以 上。